

幼児安全法講座を行いました

8月28日に、齋藤 英次氏(日本赤十字社 救急法 幼児安全法指導員)に来ていただきました。

講習内容

- 赤十字の成り立ち、赤十字の理念、活動の歴史等の説明
- 頭部外傷の種類と手当
- 傷と止血の方法
- 熱中症について
- 熱中症の判断基準と応急処置 ペットボトルでの体温冷却法
- AED（自動体外式除細動器）の使い方
- 気道の異物除去のやり方
- バンダナ、ストッキングを使った包帯法について



各手当ての方法について、指導員の方の経験も踏まえ、資料を見ながら説明を受けました。また、ぬいぐるみを使って異物除去の方法・包帯法を実践してもらいました。以下のような質問が出て、質問にも丁寧に答えられました。

質) 普段持ち歩いている防災グッズを教えてください。

答) 100円ショップで売っているアルミシート、三角巾、人工呼吸吹込み用シート



質) 異物除去の際、指で異物を掻き出してはダメなのでしょうか。

答) 基本的には口の中に手を入れません。背部叩打法を行います。



救助者の片腕に乳児をうつぶせに乗せ、手のひらで乳児の顔を支えて頭を体より低く保つ。もう一方の手のひらの付け根で、背中の真ん中を何度も強く連続して叩く。



質) AED 使用時、意識が戻った場合も救急隊が来るまで AED はそのままが良いのか。

答) 回復しても AED は外さないでください (病院で心電図を解析するため)